



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.671 2023.2.13

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

学校給食完全無償化へ

北区が2023年度予算案を発表 日本共産党区議団の提案実る

北区はこのほど、2月22日から3月22日まで開かれる区議会第1回定例会に提案する新年度予算案を発表しました。

予算規模は、一般会計で1979億円（前年度比356億円・22%増）、過去最大となりました。

日本共産党区議団は昨年11月、花川区長に予算要望書を提出してきましたが、学校給食費完全無償化、高校生医療費の通院費までの拡充をはじめ、切実な区民要望が実現することに。とりわけ学校給食無償化は党区議団が2013年から提案し続け、住民陳情では、自民・公明などが継続審査とする中でも採択を主張し、住民の運動と結んだ論戦で完全無償化を切り開いてきました。さらなる要望の実現に全力をあげます。（のの山けん）

学校給食完全無償化



第2子半額、第3子以降無料の補助を拡充し、区立小・中学校における第1子からの給食費完全無償化を実施。

子ども医療費助成拡充



これまで高校生入院医療費までだった子ども医療費の助成制度を、高校生の通院医療費まで拡充する。

定員割れ保育園に補助



私立保育園の安定的な運営を保障するために、定員割れが発生している保育園への補助制度を開始する。

学力パワーアップ講師増員



教員不足を補い教育の質を向上させるために、学力パワーアップ講師・学級経営支援員の増員を図る。

コミュニティバスにEV導入



試験運行開始が遅れているコミュニティバスの浮間地域ルートについて、EV（電気自動車）を導入して開始する。

プラごみを資源回収



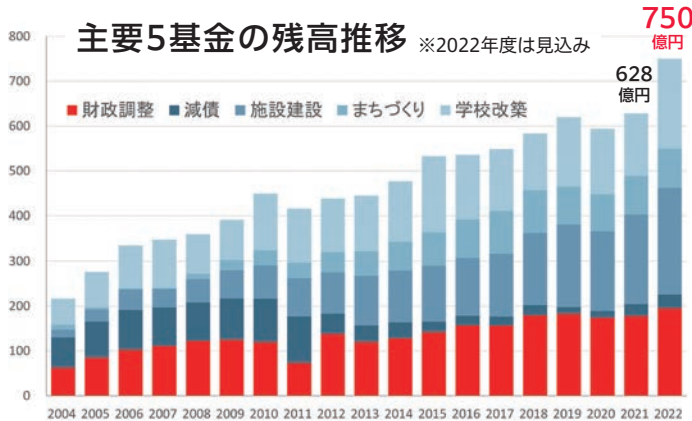
これまで可燃ごみとして収集してきたプラスチックごみについて、今後は資源として回収し、資源化を進めていく。

新年度に実現する主な施策

北区
新年度
予算案

積み上がった

基金残高 750 億円に



北区が示した新年度予算案で、主要5基金（財政調整・減債・施設建設・まちづくり・学校改築）の残高が、過去最高の約750億円となることが明らかに（左グラフ参照）。用途が決まっておらずコロナ・物価高騰対策などに活用できる財調基金は、約178億円から約195億円に増加。特定目的基金のうち、施設建設基金は今年度最終補正で27億円を積み増した上

で、新年度新たに創設される新庁舎基金にさらに20億円を計上。まちづくり基金は補正で10億円、新年度で10億円の計20億円を計上。この2つの基金で合計67億円の積み増しとなります（右表参照）。このほか、学校改築基金にも、旧赤羽台東小跡地の売却で得た約62億円を計上します。コロナ禍、物価高騰の下でも増え続けてきた基金。これだけの財力があるなら、暮らし・営業への応援に活用すべきではないでしょうか。（のの山けん）

施設建設・まちづくり基金の積み立て計画

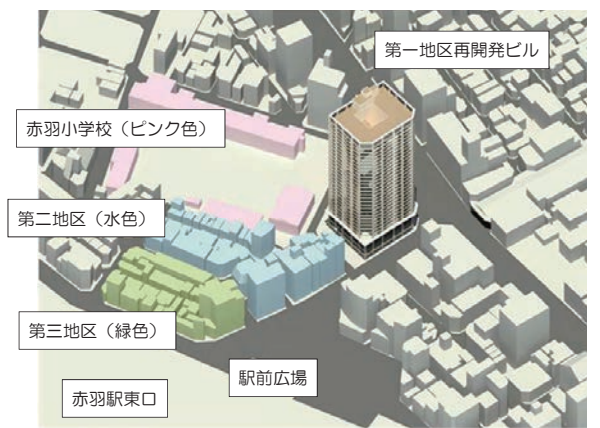
種別	施設建設 (新庁舎) 基金	まちづくり 基金	合計
補正 予算	27 億円	10 億円	37 億円
新年度 予算	20 億円	10 億円	30 億円
合計	47 億円	20 億円	67 億円

※施設建設基金の新年度分20億円は新庁舎基金として積み立て

赤羽駅東口 再開発計画に新たな動き

「第二地区」(一番街)が都知事に準備組合設立届を提出

赤羽駅東口再開発計画で、すでに都市計画決定されている「第一地区」、昨年準備組合を設立した「第三地区」に続き、一番街商店街を含む「第二地区」が、権利者3分の2の合意をクリアし、この1月に都知事に準備組合設立届を提出しました。これで、3本のタワーマンションを建設する動きが加速されることとなります。一方で、再開発計画は未だ周辺住民に知らされていません。まちづくり懇談会をはじめ、地元住民、商店街・学校関係者など広範な住民が参加する協議の場を設け、再開発の是非を含めて議論することが不可欠です。（のの山けん）



市街地再開発予定地 = 「北区予算案主な事業」より